

## 【テーマ5】 団体名 鳴門教育大学

### 「教員研修の効率化と高度化のためのオンデマンド型教員研修パッケージの開発 －教職員支援機構コンテンツの効果的活用のための開発研究－」

## 調査の概要

#### ◆課題認識

教員の勤務時間増加は様々な要因が挙げられるが、教員研修においてこれまで行われてきた集合研修では教材作成や移動などの業務量、時間共に負担が大きく、この在り方を見直すことで勤務時間の効率的活用につながるものと考えられる。

#### ◆調査研究の目的

・ NITS四国地域教職アライアンス鳴門教育大学センターと徳島県立総合教育センターが協働で「主幹教諭研修」を構築することで効率的・効果的な研修プログラムの可能性を探る。

#### ◆調査研究の方法

・ 教員育成指標をふまえて、既存のNITSコンテンツとその活用補助教材群のパッケージ（遠隔研修パッケージ）を鳴門教育大学において開発する。  
・ 遠隔研修パッケージ利用のシステム（webを用いた動画やワークシートなどの提供、研修課題に対するガイドの提供、大学教員からのアドバイス、指導など研修実施をサポートするシステム）の開発

## 取組のポイント・成果

#### ◆取り組みのポイント

##### ・組織作り

徳島県教員研修コンソーシアム会議を基本に、県指導主事を研修の企画・運営のために大学内NITS四国地域教職アライアンス鳴門教育大学センターに週2日程度駐在させる。

##### ・研修プログラムの開発

##### (1)自由に学べる研修プログラム

NITSオンライン研修コンテンツを活用した研修講座による研修プログラム構築の可能性に関する検討

##### (2)学びたいときに学べる研修支援HPの開発

学校改善の取り組み紹介（デマンド教材）

研修者相互の意見交換の場の設定

研修資料の閲覧

#### ◆成果

回数	科目名	研修題目	大変良かった		おおむね良かった		あまり良くなかった		全く良くなかった	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
第2回	学校経営と組織マネジメント	学校経営と組織マネジメント	14	82.4%	3	17.6%	0	0.0%	0	0.0%
第3回	メンタルヘルスと働き方改革	教員のメンタルヘルスケア	15	83.3%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
		ポストコロナを考える	16	88.9%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
第4回	教育行政と教育法規	学校における働き方改革	13	72.2%	5	27.8%	0	0.0%	0	0.0%
		徳島型メンター制度	16	88.9%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
第5回	学校とリスク・クライシスマネジメント	教育法規の具体的な運用	17	94.4%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
		「リスクマネジメント」学校における危機管理	16	88.9%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
第6回	チーム学校と人材育成	チーム学校と人材育成	15	83.3%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
第7回	学校経営と管理職	教育管理者から学ぶ	11	61.1%	7	38.9%	0	0.0%	0	0.0%
第7回	学校経営と管理職	教職校長から学ぶ	18	100%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

研修配付資料・NITSオンラインコンテンツ・鳴門教育大学センター作成動画コンテンツ・ワークシート等をパッケージ化することによって、他の研修講座でも活用が可能である。また、教職大学院のオンライン授業での活用も期待できる。そうすると、教職大学院での遠隔教育の実施や教員研修を自宅や学校で受講することも可能になる。

The screenshot shows the website for the NITS online training support HP. It features a navigation menu, a main content area with a list of training sessions, and a sidebar with additional information. The training sessions are listed with their dates and topics, and each session has a list of related documents or materials available for download or viewing.

研修支援HP

## 今後の課題

- ・ オンライン研修の場合、配信する側の環境整備も重要であるが、受信する側の環境整備も必要なことも明らかとなった。
- ・ 将来の遠隔研修のために、受講者相互の意見交換の場を設定する試みに取り組んだのであるが、「ロイロノート」や「まなびポケット」を使ったコミュニケーションが自由に行えるようになれば勤務地を離れないで研修を行うことも可能になる。